

# 8月の市議補欠選挙に挑戦

のり子の週間日誌は6月県議会中につき省略します。共産党の県議・市議候補への激励の声などぞつくばらんにお寄せ下さい。1500字程度で奥村生活相談所のファックスへどうぞ。

8月3日告示、10日投票で和歌山市長選挙と市議補欠選挙(定数2)が実施されます。市長選については共産党も加わる「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」が今週中にも候補者を発表しますので次号で紹介します。市議補欠選挙には当紙面でもおなじみの中村朝人(あさと)党市・青年部長が立候補します。中村さんは、1979年生まれの35歳。粉河高校卒業して大阪法律専門学校で学んだあと、02年から党北部地区委員会に勤務。党和歌山市議団事務局を経て、現在、地区常任委員、党市青年部長を務めます。中村さんが今、情熱をこめて取り組んでいることは、①子どもの医療費の無料化を中学卒業まで広げること、②若者の雇用拡大、③高齢者福祉の充実です。真夏日の中、定数2という厳しい闘いですが、全力で頑張りますので応援よろしくお願いします。(編集室)

## 中村あさとです。頑張ります



6月7日の山下芳生党書記局長と語る集いで決意を述べた中村あさとさんです。

## 県会議員 奥村のり子の 読者ニュース

2014年6月22日 第136号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



## 歴史的改悪「医療・介護総合法案」 中身知らさず、与党の数の横暴で

18日が私の一般質問です。結果についてはまたご報告しますが、質問をむかえる慌しいなかで今号を提稿しています。先日、楠見在住と思われる方から党県議団にお電話がありました。5月下旬に完成した「おくむらのり子・県政だより」を読んだ感想でした。1面の「多くの高齢者が介護サービスからはずされる」という記事を見て「こんなひどいことになるんですか」といろいろに数の横暴で「成立」です。同日、共産党小池晃参院議員は、介護保険利用料引き上げの根拠が完全に崩壊したにもかかわらず「

17日に参院厚生労働委員会可決した「医療・介護総合法案」の中身などは知られていません。要支援の方の訪問介護やデイサービスは介護保険からはずされ、特養ホームへの入所は要介護3以上に限定され、所得160万(年間)以上の方の利用料は2倍になることなど、アツと言う間に数の横暴で「成立」です。同日、共産党小池晃参院議員は、介護保険利用料引き上げの根拠が完全に崩壊したにもかかわらず「

## 滝畑産廃で質問

6月16日、産廃問題で一般質問しました。3月10日、事業者が「生活環境影響調査計画書」等提出したことで、山口連合自治会や阪南市議会、阪南市東鳥取地区連合自治会、各種団体から多くの要望書が出されています。生活環境の悪影響や地形への不安、事業者の説明会を開くよう指導を求めるとの内容です。山口連合自治会は事業者の説明会開催の要望を提出されましたが、今も開かれていません。市長に「業者に住民説明を責任をもつて誠実に果たすよう指導しているのか」との質問に「事業計画が確定し、和歌山市産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防に関する条例に基づき、住民に対する説明会にお

## 党市議会議員 南畑 幸代



## 市長、「産廃計画地へ行くべき」と答弁

私は、このままではとても住民不安に 대응しようとしているとは思えない。今までは違った局面に立たされている住民の立場に立って、せめて市長の任期中に、「山の中の計画地をみてもらいたい。住民の方々と対話の場を持つ考えはありませんか」と質問、市長は予定が立てば市長として現地に行くべきだと考えている。しかるべき時期に住民との対話は必要」と答弁しました。先日滝畑の蛍を見に行きました。沢山の蛍が滝畑川を飛んでいて、かじかの声も初めて聞きました。「自然豊かな滝畑を何としても守り抜きたい」と改めて思いました。



新しい横断幕「市民生活の水源地を破壊するな 和歌山市民 阪南市民」とあります。



## 市の担当局長さんらと懇談

(前号既報)市駅前の街づくりについて集めたアンケートを持って、和歌山市の担当局長、部長、課長さんへの要請行動です。坂口多美子(次期市議予定候補)も同席。

のまま採決とは国会の自殺行為だと強調しました。このところ再び戦争する国への物騒な動きや、消費税を増税した途端に、大企業向けに次は法人税減税だと言うなどの暴走は目にあまり怒りの風を起しましょう。(のり子)